



取組事例の名称		放射能汚染土 遮へい実験供試体作成
概要	対象	放射性物質汚染土壌
	種別	<input type="checkbox"/> 救援 <input type="checkbox"/> 機能回復 <input type="checkbox"/> 新・増設 <input checked="" type="checkbox"/> 復興 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (除染物一時保管実証)
	規模	・ 600×600×600の軽量コンクリートを用いたキューブ作成と飯舘村での遮へい効果実証実験
	実施会社	オリエンタル白石 (株)
	実施場所	福島県飯舘村
	発注者	非公開 (中央官庁)
	<p>1. 工事等取組の目的及び概要と採用した技術名称 名称：軽量コンクリートを用いた放射線遮へいキューブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原発由来による放射性物質に汚染された土壌等を格納するためのコンクリートキューブを作成する。 ・ 軽量コンクリートを用いることで軽量化を図る。 ・ 軽量コンクリートを用いることによる、遮へい効果の低減率を検証する。 	
<p>2. 当該技術を採用した理由、当該技術に期待した成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原発由来による放射性物質に汚染された土壌等を小規模自治体の地区規模で格納する方法の確立 ・ 除染後の放射性物質の簡易格納 		
(写真、イラスト)		
		
試料線量測定状況		試料格納後の後測定状況

取組事例の名称	放射能汚染土 遮へい実験供試体作成
3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦労した事柄・教訓	<ul style="list-style-type: none">・除染事業が本格化する前の施工であったため、専門技術および知見を持った関係者および地元自治体関係者の関係者の協力の下作業を行った。・何よりもスピード重視であった。
4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価	<ul style="list-style-type: none">・遮へい効果は十分発揮されたことが実証されたため、今後の選択肢の一つとして期待されると共に、作業の依頼から検証までの期間を最短としたことに評価が高かった。
5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術	<ul style="list-style-type: none">・コストが高いため、量産体制によるコスト削減が必要である。
6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項	<ul style="list-style-type: none">・個人住宅程度の除染後に出てきた汚染物質の格納程度ならば容量的にも問題ないが、今後最終処分を含め法整備が必要だと考える。
NETIS登録	